

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	柔道整復実技6	実技	3	90	柔道整復学全般
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 3年	南沢 悟	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	整形外科10年間勤務 柔道整復認定実技審査員活動5年 機能訓練指導員1年間勤務 応急手当普及員活動10年(浜松市消防局公認)		
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>・認定実技審査における、骨折・脱臼の審査科目において、骨折・脱臼の整復法、固定法について試験合格レベルに到達する。認定実技審査後においては、骨折・脱臼の応用整復法、応用固定法を学ぶ。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>・柔道整復師として勤務、開業した実務教員によって授業を展開する。</p> <p>柔道整復師として経験した、骨折・脱臼・軟部組織損傷に対する整復法、検査法、固定法を習得する。接骨院などの臨床現場で実践するものを指導するが、基礎は柔整理論、実技教科書の記載内容に準じて展開する。柔道整復学・理論編、実技編より、鎖骨骨折・上腕骨外科頸骨折・上腕骨骨幹部骨折・コレス骨折・中手骨骨折・下腿骨骨幹部骨折・肋骨骨折・肩鎖関節脱臼・肩関節脱臼・肘関節脱臼について理論、実技の復習も兼ねる。</p>					
教科書・参考書					
<p>公益社団法人全国柔道整復学校協会監修 「柔道整復学・理論編(改訂第5版)」 「柔道整復学・実技編(改訂第2版)」 「包帯固定学(改訂第2版)」</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●授業毎、白衣に着替えて教室待機(教室にて伝達事項&出席確認)(忘れた場合は、速やかに担当講師に報告する。) ●メモの用意や授業後に行った内容をまとめておく ●固定道具等の準備を確実に進行。 ●頭髪(色、長さ、髪型)、服装(白衣上下、靴下着用)は厳しく指導します。 ●髭、装飾品等は許可しない。 ●グループにて実技を行い、接遇(思いやる気持ちを持って)を意識します。 ◆実技室、教室の清掃徹底 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	80	<ul style="list-style-type: none"> ●実技学習に相応しくない(容姿、服装、態度)場合は、受講を認めないことがあります。 ●前期・後期定期試験において合格点を収める。(原則として60点以上を合格とする。) (実技試験を授業内にて実施)			
その他	20	頭髪、白衣、実習靴、名札等の身だしなみを授業毎に確認する。 定期試験まで身だしなみの不良0回・・・20点、1回・・・15点、2回・・・10点、3回・・・5点、4回以・・・0点正当な理由がなく授業を欠席した場合は、1回の身だしなみ不良とカウントする。 (欠席届けを提出した場合は別)			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		【整復・評価】 鎖骨定型的骨折 整復法①		/	南沢
2		【整復・評価】 鎖骨定型的骨折 整復法②		/	南沢
3		【整復・評価】 上腕骨外科頸外転型骨折 整復法①		/	南沢
4		【整復・評価】 上腕骨外科頸外転型骨折 整復法②		/	南沢
5		【整復・評価】 コーレス骨折 整復法①		/	南沢
6		【整復・評価】 コーレス骨折 整復法②		/	南沢
7		【整復・評価】 肩鎖関節上方脱臼 整復法①		/	南沢
8		【整復・評価】 肩鎖関節上方脱臼 整復法②		/	南沢
9		【整復・評価】 肩関節前方脱臼 整復法①		/	南沢
10		【整復・評価】精度 肩関節前方脱臼 整復法②		/	南沢

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		【整復・評価】 肘関節後方脱臼 整復法①		/	南沢
12		【整復・評価】 肘関節後方脱臼 整復法②		/	南沢
13		【整復・評価】 肘内障整復法①		/	南沢
14		【整復・評価】 肘内障整復法②		/	南沢
15		整復法まとめ		/	南沢
16		口頭試問に対する対応		/	南沢
17		【整復・評価】 鎖骨定型的骨折応用対応 整復法①		/	南沢
18		【整復・評価】 鎖骨定型的骨折応用対応 整復法②		/	南沢
19		【整復・評価】 上腕骨外科頸外転型骨折整復法 応用対応整復法①		/	南沢
20		【整復・評価】 上腕骨外科頸外転型骨折整復法 応用対応整復法②		/	南沢

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		【整復・評価】 コーレス骨折応用対応 整復法①		/	南沢
22		【整復・評価】 コーレス骨折応用対応 整復法②		/	南沢
23		【整復・評価】 肩鎖関節上方脱臼応用対応 整復法①		/	南沢
24		【整復・評価】 肩関節前方脱臼応用対応 整復法②		/	南沢
25		【整復・評価】 前腕両骨後方脱臼応用対応 整復法①		/	南沢
26		【整復・評価】 前腕両骨後方脱臼応用対応 整復法②		/	南沢
27		【整復・評価】 肘内障応用対応整復法①		/	南沢
28		【整復・評価】 肘内障応用対応整復法②		/	南沢
29		口頭試問に対する対応		/	南沢
30		骨折・脱臼 整復法・固定法 まとめ		/	南沢

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		【評価】 肩腱板損傷①		/	南沢
32		【評価】 肩腱板損傷②		/	南沢
33		【評価】 上腕二頭筋長頭腱炎①		/	南沢
34		【評価】 上腕二頭筋長頭腱炎②		/	南沢
35		【評価】 ハムストリングス損傷①		/	南沢
36		【評価】 ハムストリングス損傷②		/	南沢
37		【評価】 大腿四頭筋打撲①		/	南沢
38		【評価】 大腿四頭筋打撲②		/	南沢
39		【評価】 膝側副靭帯損傷①		/	南沢
40		【評価】 膝側副靭帯損傷②		/	南沢

